

円山川緊急治水対策事業検討ワーキンググループの設置について
アンケート調査結果

円山川緊急治水対策事業検討ワーキンググループ（以下、「検討WG」と記す）の設置について、第6回課題検討会にご出席の委員のご意向をお伺いしたところ、円山川緊急治水対策をより深く理解し、円山川のあるべき姿との関係を整理する資料作成を検討WGにより行い、流域委員会及び課題検討会に報告すると委員長提案に、賛同を頂きました。

本検討WGの設置は、内容的に見て流域委員会において議論し決定すべき事項であると考えられ、本委員会で改めて議論して頂くこととなり、また、委員会での審議を充実したものにするために、第6回課題検討会にご出席しなかった委員の方にもご意見を次回委員会までにお伺いするため、以下の内容のアンケート調査を各委員対象に実施しました。

アンケート内容

検討WGの設置について

検討WG（円山川緊急治水対策事業検討ワーキンググループ）の設置について、

- a)賛同する
- b)賛同しかねる

検討WGのメンバーについて

検討WGのメンバーに

- a)立候補する
- b)他の委員を推薦する
- c)委員以外の方を推薦する

アンケート調査結果は以下のとおりです。

アンケート結果

回答者12名（全22名のうち）
検討WGの設置について
賛同する・・・・・・・・・・11名
その他意見・・・・・・・・・・1名
検討WGのメンバーについて
a)立候補する・・・・・・・・・・3名（木ノ瀬委員、山口委員、江尻委員）
b)他の委員を推薦する・・・・・・・・・・推薦を受けた委員7名（上田委員、平井委員、 江尻委員、垣田委員、前田委員、池田委員、菊地委員）
c)委員以外の方を推薦する・・・・・・・・・・推薦を受けた方1名（神田圭一氏：明石高専）

緊急治水対策検討WGについてのアンケート集計結果一覧

項目	委員	川合	垣田	木ノ瀬	前田	松田	山口	沖村	梶本	服部	畑	菅村	江尻
検討WGの設置		賛同する		賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する	賛同する
理由・意見など			「円山川緊急治水対策事業」は昨年23号台風以後、流域委員会として現地視察から始まり、度々の被害状況の説明や検討がなされて来ました。その後管理側より「整備計画案」の提示があり、これについても議論が交わされ来ました。今までの議論のなかで、流域住民を同じ規模の災害から守るための最小限の「緊急整備計画案」で余り議論の余地はないように受け止めています。流域委員会の「河川計画」と「緊急治水対策事業」の整合性を見るための検討WGの設置と思われるのですが、別途に委員会を設置する必要はないと考えます。流域委員会の「河川計画」はもう少し大きな視点から、ながい先の円山川の在り方を考えるべきで、とりあえず「緊急治水対策事業」との問題点だけを回避して先へ進むべきではなからうかと思っております。		円山川の治水対策としての基本が下流部（国土交通省管理範囲）のみに終止しようとしており、上流対策を無視した形では真の治水対策とはなり得ない。 本来、標高、地形等を考えた上で宅地や市街地計画がなされるべき所を無視して、市街化した面の反省と、上流からの流速を早める工法や山の治水対策を放置してきた国・県の責任を論議すべきである。 以上を加えながら検討WGの設置に賛成します。		検討課題は専門的にもわたり、大委員会の議題には適応し難い。小委員会においては、細部にわたり、各委員の見解が深く追求されやすい。		円山川流域委員会を設置され、論議されている途中でかつてなかった規模で水害があり、わたしが参加希望をした時より、参加の発想を転換しなければならぬと思っています。地球温暖化の進行を考えると、今回の水害がたまたま起ったのでなく、これからは増加することが予想される。緊急治水対策事業を検討、評価する委員会は必要と考えます。賛成します。			円山川自然再生委員会とよく協議して下さい。コウノトリの野生復帰のイメージを高めるものを作り上げて下さい。	
検討WGのメンバーについて	A 立候補する			立候補する			立候補する						立候補する
	B 他の委員を推薦する	上田委員					垣田委員		前田委員	池田委員	菊地委員		
	C 委員以外を推薦する	神田圭一氏（明石高専）											
理由・意見など		ほかの委員に関して、上記以外の委員を上げるならば、江尻繁氏、平井住夫氏を推薦します。委員数の関係で、以上のようにしましたが、どなたがWGの委員になられても結構です。		・ 円山川下流域だけしか論じれない委員は1/2以下であるべきと思う（近視眼的すぎる。） ・ 河川工学の専門家はWGではなく、方針決定後に加わるべきであろう。あまりにも工事優先の発想が強すぎる。		A. 私は従来、江戸期の治水対策やその思想に学ぶべきであると本委員会でも主張してきた。その主張の要点を細部にわたり展開できる形の委員会である。 B. 垣田氏は委員中、唯一の地学者であり、円山川および豊岡盆地の生成についてエッセーを発表している実績が生かせると思います。		委員のメンバーに温暖化による気象の変化、予想などに精通した人の意見も聞けたらいいと考えます。年々変化する気象状況を心配しています。		若さ、情熱、被災体験、近傍在住、専門外視点等々から推薦致します。	事務局におまかせします。		

<アンケート集計結果一覧より名前のがるメンバー>

- A 自薦 : 木ノ瀬、山口、江尻
- B 推薦（委員） : 上田、平井、垣田、前田、池田、菊地
- C 推薦（委員以外） : 神田

上記メンバーに藤田委員長、川合委員長代理を加えると以下の通り

検討WGメンバー第一候補 藤田、川合、木ノ瀬、山口、江尻、上田、平井、垣田、前田、池田、菊地、神田（以上12名）

赤字：自薦、青字：他薦、緑字：委員以外